

レベル	Core		
科目群記号	F	科目群	セクター間連携
科目番号	10	科目名	地域連携
研修時間	55 分	実施形態	講義
評価方法	確認テスト（講義とは別に 30 分）		

<概要>

地域連携の様々な事例を通じて、連携が成り立つための条件について理解し、それぞれのセクターのインセンティブ構造の違いを理解する。また、地域課題の発掘から、課題を解決する連携プロジェクトの企画提案、チーム組成、調整、運営するために必要な地域連携の実務に関する知識とスキルがどのようなものなのか理解する。既にテーマが決まった地域連携プロジェクト（あるいはシステム）の学内外セクターに対するマネジメントの在り方を事例をベースにして学ぶ。

<達成目標>

1. 地域連携の具体的な連携形態・類型について理解する。この類型化は、イニシャチブを取るセクターによって性格が大きく変わるので、これによる分類と、プロジェクトなのか、仕組み（システム）なのかで、活動の内容が異なるので、これによる類型化も行う。
2. 先行する地域連携事例を通じて理解を深める。また、その際に外形的な取り組み内容だけではなく、URA（産学連携 CD 等の類似職を含む）が、具体的にどういったことを担ったのか、その際に必要な知識やスキルがどういったものであるのかを学ぶ。

<キーワード>

地域連携、社会貢献、地域課題の解決、地方創生、自治体との連携、連携協定、プロジェクト組成

<内容>

1. 地域連携の施策の動向について
2. 地域連携のイニシャチブを取るセクターから見た連携形態・類型
 - ・官が主導する地域連携
 - ・大学が主導する地域連携
 - ・産セクターが主導する地域連携
3. 学生や地域住民が参画する連携プロジェクト
4. 先行する地域連携事例の分析
 - ・地域連携プロジェクトや仕組みを通じて大学が成果を創出する等のインセンティブが得られるための条件
 - ・研究活動に直接タッチせずその地域連携のマネジメントをする立場の方における留意点